

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	縁キッズ都筑		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2025年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2025年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	充実した活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感や日本の伝統行事を取り入れている ・5領域を意識して取り入れつつ、児童の状況に合わせた活動を提供している ・遊び感覚でできるよう工夫している 	<p>今後は保護者のご要望等ももっと積極的に聞いていき、取り入れることで質の良い療育を提供していきたい</p>
2	職員間の情報共有	1日3回のミーティング、毎月のミーティング、会議・研修などできる限り情報共有等の時間を設け、より良い支援につながるようしている	さらに良い支援ができるように職員間のコミュニケーションを充実させていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や外部との交流ができていない	夏祭り等の行事を開放することも検討したが広さの懸念があり	夏祭りに向けて早めに始動し、開放できるかどうかの検討も含めて検討していきたい
2			
3			

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	緑キッズ都筑		公表日 2026/2/27			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	必要最低限の物のみをフロアに置いているため、広く活用できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	トイレに行く際に段差が2段あるが、職員が誘導する際の配置を工夫して転倒を防ぐようにしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	児童の掃除に加え、営業終了後に職員での清掃も行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	相談室兼静養室があり、クールダウンや隔離などにも使うことができている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	ミーティング、職員面談等により把握する機会を設け業務改善に活かしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	社内研修の機会は多い	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムをもとに計画書作成、サービス提供を行なっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	見学や体験、契約時に保護者様から聞き取るとともに、面談や日頃からの児童・保護者様の関わりを通じてアセスメントを行い計画書	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	月に1回児童ミーティングを行い、支援の検討や情報共有を行なっている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	アセスメントシートや計画書、情報の共有を行い、児童の成長に合わせた支援を行なっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員で話し合いながら作成している。特に長期休暇時の活動は職員同士意見を出し合い楽しめる活動を提供できるよう工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	固定して毎月行い積み重ねていくもの、飽きることなく楽しめるよう新しく取り入れるものなど取り混ぜて作成している。また児童の	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	5領域の内容に照らし合わせるとともに児童の発達段階に合わせた活動を提供している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼、昼礼で必ず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼を行い、ヒヤリハットの確認等振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的に見直し、共通認識を持って支援している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	1		交流の機会を増やしていきたい	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時のお話や連絡帳、LINEやメッセージを通じて保護者様との情報共有の機会を作っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に必ず行なっている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者面談で行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	丁寧に相談に応じるようにしている。事業所内での関わり方等も共有するようにしている	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	夏祭りなど保護者様が参加できる活動を通じて、保護者間での交流の機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月縁キッズ続きだよりを発行している。ホームページ等のブログを発信している。個人が特定できないよう配慮しつつ写真を多く	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	必要最低限の個人情報以外は持ち出さない。携帯やパソコンにはパスワードを設定している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	写真、絵カード、文字、身ぶり手ぶりなど状況に合わせた伝達方法を使用している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		現状できていないため、今後夏祭り等地域にも開けるよう検討したい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	ミーティングや研修を通じてマニュアル確認や訓練を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時等に、状況確認や対応方法についてしっかり確認し対応している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に確認して共有している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	毎日終礼でヒヤリハットを出し合い、検討している	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に研修を行なっている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	定期的に研修を行い、職員間で共有。契約時に同意を得て計画書に記載している。		